

11月になりました。

秋はイベント行事めじろ押しとお伝えしましたね

特に今年も文化祭は大盛況でした。が良く話題にするので今回はスルー！

プロップKはダーツの普及活動を独自の活動として積極的に行っています。

平成21年からは正式に「認知症予防活動」として高齢者に指導普及。

障害者でも可能なバリアーフリースポーツとして推進

子ども達には遊びの中の学習ツールとして提供しています。

ダーツ知らない方は当然ですが、ダーツをやった事ある方・今やっている方でも「なんで？ダーツが認知症予防？」と疑問を持たれることがあります。

が実際に「こうですよ」と指摘し、体験されると「確かにそうですね」

「すごく良いと思います」と納得されます。それがハードダーツの特色です。

若い方には気軽に一杯やりながらできる「ソフトダーツ」が人気です。

計算などを機械がやってくれます。ダーツそれぞれに楽しい。でも、少し楽しみ方が違ってきます。

ハードでは本人が暗算でスコア計算を行います。

通常のゲームのスコア計算は、まず自分が投げた3本分の点数を加算し1回分を決定します。

1~20のボードには2倍3倍のエリアもありますので、それにも注意。

エリアの条件通り1回分の合計点数が確定したら、その合計数字をあらかじめ決めた

301・501点などの数から減算していきます。その様な加算と減算を繰り返しながら

合計から持ち点からの中点を引いて「ゼロ」にできる数字の組合せを見つけ、

その通りに「その場所にダーツを命中させて勝利」

「わかりましたか？」言葉で説明するとややこしい。体験が一番。ちなみに

良くある間違い。一番大きい数字のエリアは「真中ではありません」から！！

真中の赤い丸狙えば勝ちなんて事はありませんので・あしからず！

自分自身で判断し選択し自分の力だけで行う。人と比べての勝ち負けもありません。

それが私達のダーツ。だれでもができるけど、とても奥深いものです。

なんて・結構まぐれもあるのがまた面白い所なんですけど・

今スポーツ界に新しいスポーツの概念が生まれてきました。

e スポーツと呼ばれるものです。

その **e** スポーツ「VR(仮想現実)の中で行う対戦型大型テレビゲーム」

還暦の私からすると昔見た六本木スクエアビル1階ゲーセンの特大対戦型インベーダーゲーム

を彷彿とさせる感じ。ですがテレビで紹介されていた実力者は「気力・技術、体力も鍛えないと勝てません」

と言っていました。スポーツという由来は「遊び」。そこに鍛錬。確かにスポーツです

半面スポーツとは「一定のルールに基づき心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進を目的としたもの」と

考えると「人と直接触れ合わない・ゲーム依存症を誘発する」などの点からスポーツとして懐疑する人もいます。

これからスポーツの在り方や認識がどうなっていくのでしょうか？

スポーツマンの容姿も変わりそう！

さてダーツはどこに入るのでしょうか？ ダーツは身体能力・精神力

おまけに頭脳まで活性化させます。立派なスポーツ！

プロップKでは区民センターや地域団体と協働し、

あちらこちらで体験会を行っています

天候に関係なく、初めての方、愛好者、障害ある方、子ども、大人も

どなたでも楽しめる 万能スポーツ「ダーツ」をぜひ体験してみてください。ダーツはみんなのスポーツ

まっまーす。 ダーツイベント満載の11月の始まりです。



ハードダーツボード
ソフトとは違います



何点？みんなで計算

